[6644/5G-122-001]

Ver.15

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G122 抗MDA5抗体

抗MDA5抗体

anti-MDA5 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6644	001	抗MDA5抗体

検査予約

至急オーダー

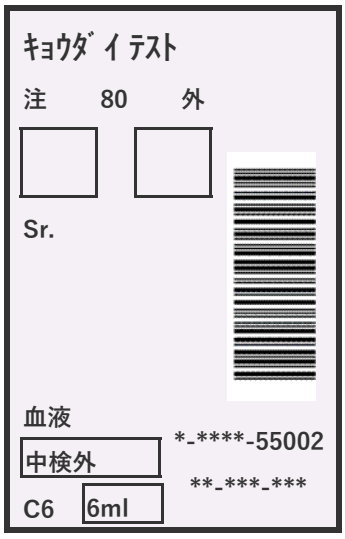
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)



ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

2026/07/10　14:42

[6644/5G-122-001]

Ver.15

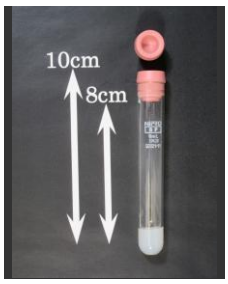
5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G122 抗MDA5抗体

抗MDA5抗体

anti-MDA5 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

01	C6	凝固促進剤＋血清分離剤(ピンク)			
採取材料	血液	採取量	6 mL		
生化分離	遠心				
測定材料	血清	測定必要量	0.3 mL		



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	28 日				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い

尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査･追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）
（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

2026/07/10　14:42

[6644/5G-122-001]

Ver.15

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G122 抗MDA5抗体

抗MDA5抗体

anti-MDA5 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

検査機器	
検査所要日数	2～4日
検査部門・委託先	外部委託（エスアールエル）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	

検査結果報告について

2019年1月 4 日受託分より, 試薬添付文書の改訂に伴い, 報告値範囲を変更します. 従来, index値 100 以上で報告していたものについて希釈再検を行うようになるため, 従来よりも高値傾向となります. 詳細は印刷用マニュアルを参照ください.

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	酵素免疫吸着測定法 (ELISA)

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	INDEX	32 未満	32 未満	(単位なし)
00	判定	陰性	陰性	(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

  皮膚筋炎（dermatomyositis；DM）は自己免疫による代表的な炎症性皮膚疾患であり, ヘリオトロープ疹やゴットロン徴候を始めとした多彩な臨床症状を示すことで知られている. 多発性筋炎/皮膚筋炎（（PM/DM） としての患者数は国内に約2万人, 男女比はおよそ1：3, 中年以降での発症が多いとされている.
  皮膚症状のみで臨床的に6ヵ月以上筋症状が認められない皮膚筋炎患者を無筋症性DM（clinically amyopathic dermatomyositis；CADM）と呼び, DMに特徴的な皮疹を有してはいる,

2026/07/10　14:42

[6644/5G-122-001]

Ver.15

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G122 抗MDA5抗体

抗MDA5抗体

anti-MDA5 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

筋力低下などの症状に乏しく, CKや筋電図等の検査所見にも異常を認めることが少ないとされている. 近年, 免疫沈降法によりCADM患者の血清中に分子量140kDaのバンドが認められたことから, この自己抗体は抗CADM-140抗体と呼称された. その後, この抗体の対応抗原がmelanoma differentiation-associated gene 5（MDA5）であることが判明し, 抗MDA5抗体と命名されたため, 抗CADM-140/MDA5抗体と呼ばれることがある.
  DM患者と比較し, 抗MDA5抗体陽性（CADM）患者は高率に急性間質性肺炎（AIP）を併発し, その中の多くは急速に呼吸困難が進行する急速進行性間質性肺炎（rapidly progressive ILD：RP-ILD）とされている. RP-ILDは数日から数週間で急速に呼吸不全が進行し, 強力なステロイド剤や免疫抑制剤投与などに対しても治療抵抗性で予後不良とされている.
  RP-ILD合併CADMの報告例は日本を含む東アジア地域に多く, 欧米諸国においても近年同様の報告が認められている.
  抗MDA5抗体はCADMに特異的に認められる自己抗体で, 他の自己免疫疾患ではほとんど検出されず, 成人DMにおける出現頻度は10～25%とされている.
  また, 抗MDA5抗体陽性の患者におけるRP-ILDの合併頻度は50～70%であり, 治療前の抗体価が予後に関連があることを示唆する発表や, 抗体価の推移が経過観察に有用との報告もあり, 今後の研究が待たれる.

異常値を示す病態・疾患

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	5G122	抗MDA5抗体
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2016/11/13	2016/11/17～	新規作成・KINGオーダリング開始
2	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
3	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
4	2018/12/28	2019/01/04～	報告値範囲変更

2026/07/10　14:42

[6644/5G-122-001]

Ver.15

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G122 抗MDA5抗体

抗MDA5抗体

anti-MDA5 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

5	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
6	2020/03/23	2020/04/01～	所要日数変更
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
9	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
10	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
11	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
12	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
13	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
14	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
15	2026/06/11	2026/06/01～	外部委託契約更新にともなう変更

2026/07/10　14:42